

発行責任者 中田慶子  
〒850-8799長崎中央郵便局 私書箱第7号  
FAX 095-832-8488 DV防止ながさき  
HP : <http://www.no-dv-nagasaki.net/>  
E-mail [dv\\_greentomato@yahoo.co.jp](mailto:dv_greentomato@yahoo.co.jp)  
郵便振替口座 01730-6-103415

# グリーントマト

今年は梅雨入りが早く、蒸し暑い日々が続いています。新型コロナウイルス感染症が第5類となって、マスクは必須ではなくなり、長崎にも観光客がたくさん訪れ、カステラの袋を下げた修学旅行生にも電車の中で出会いますが、まだまだ油断ができません。いろんな方と会ったりお話ししたりする私たちの活動には、まだまだマスク着用が必要な場面も多いと感じています。

## あいつぐ法改正、新法の施行

先月5月12日の国会で「配偶者暴力防止法」の第5次改正が可決されました。これまで、暴力によって生命や身体に重大な危害を受けるおそれ大きい場合に限って、裁判所が加害者に対し、被害者に近づくことなどを禁止する「保護命令」が出されていましたが、改正法では、これに加え「生命や身体、それに自由や名誉、財産に対する脅迫により精神的に重大な危害を受けるおそれ大きい場合」でも、裁判所が「保護命令」を出せるようになり、また「保護命令」の期間を今の「6か月」から「1年」に延長し、命令に違反した場合の罰則を「1年以下の懲役または100万円以下の罰金」から「2年以下の懲役または200万円以下の罰金」に引き上げられました。これまでの6か月では、離婚手続きや今後について悩んでいる間に保護命令が切れてしまうことも多かったのが、少し気持ちに余裕ができるように思います。

また刑法の性暴力についての法改正も30日に衆院を通過。これまでの「強制性交等罪」が「不同意性交罪」と名称が変わり、被害者が「同意しない意思を形成・表明・全うすること」を困難にして性交などを行った場合に成立すると規定。具体的な要件として、暴行・脅迫やアルコール・薬物の使用、経済・社会的地位の利用など8つの行為や状況を例示し、同意の有無が問われることになりました。また、これまでは性的同意ができるとされていた年齢が日本では13歳で国際的にも低い年齢でしたが、これも16歳へと引き上げられました。13歳は中学1年生、性教育が不十分な現状では、性行為の意味、妊娠や性感染症の知識もない年齢なのに、なぜ「性的同意」が可能だとされていたのか理解に苦しみますが、ようやく国際的にも妥当な16歳となったことは、大きな変化です。

さらに来年4月には、「困難な女性の自立を支援する法律」も施行され、これまで多くの方々が声をあげてきたことに対して、国が取り組むようになったことは一歩前進だと思います。

しかし、法制審議会の家族法の審議は、残念ながら離婚後の共同親権へ向いていきそうで心配です。現在は離婚したら父母どちらかの「単独親権」ですが、それでも面会交流の要求などで子どもや母親の負担が大きいのが現状です。両親ともに権利を持つ「共同親権」への変更が、子の福祉にかなうのかどうか、とても心配です。今後もしっかり関心を持ち続けていきましょう。



理事長 中田慶子

## 第21回定期総会を開催

NPO法人DV防止ながさきの定期総会を5月28日（日）に開催。対面開催と遠方の方も参加できるようにハイブリッドで実施され、2022年度の活動報告・決算・2023年度の活動計画・予算すべての議案が承認されました。

## 2022年度の活動から

### デートDV予防教育

2022年度は大学4校、高専1校、高校52校、中学47校へ実施し、受講した生徒の総数は、17,586人となりました。コロナ等で予防教育が取りやめになった学校は2校と少なく、高校で全学年対象で実施する学校が多かったため、前年度より対象の生徒数が3,000人程増えました。

受講した生徒からは、以下の様々な感想が寄せられています。

- ・「ユーメッセージ、アイメッセージという言葉は初めて知りました。」
- ・「デートDVは怖いものだ！」
- ・「これもDVなのかというのがあり、とても驚きました。」
- ・「大切＝相手の心、身体、未来を守ることが印象に残った」



長崎県では高校の3年間の間に一度は予防教育を受けられるようにと、県教委も取り組んでいます。中学の予防教育は、自治体での取り組みが年々増え、長崎市、佐世保市、大村市、諫早市、壱岐市、雲仙市、平戸市、長与町の各市町では、自治体の担当課で予算化して実施しています。

高校は、県主催（離島郡部）の他、国際ソロプチミスト長崎・佐世保・佐世保パール様からの助成金などで実施しています。

### 相談・支援の事業 「長崎県DV被害者等総合支援事業」について

長崎県から受託しているDV被害者等の自立支援事業は、被害をうけた方を中長期に支援する事業で、「困難女性自立支援法」を先取りした内容です。暴力の影響は個人差が大きいものですが、人によっては年単位の長い期間、女性ばかりでなく子どもたちもさまざまな影響を受けます。ひとことで生活再建といっても、それぞれの家族にとって、必要な支援は異なり、当会だけでできることではありません。医療、福祉、教育、いろんな機関と連携しながら行っています。

### 人材育成の事業

このように活動が充実してくる一方で、支援や予防教育の人材育成も急務となっており、アマランスと共催の講師養成講座（6月25日～）と授業者スキルアップ研修（8月下旬予定）、11月にはアマランス主催の「DVを根絶するための連続講座」を開催します。当会も平均年齢が高くなり、今後も活動を継続していくうえで、担い手の育成を積極的に進めていく必要があります。まずは活動を知っていただくことが大事です。皆さま、関心のある方がいたら、お声かけをお願いします。



## 第21回定期総会記念講演「中学生への性教育」

2023年5月28日(日)、講師に「アスター」代表の中山安彩美さんをお迎えし、中学生の性教育について模擬授業をしていただき、学びを共有しました。

看護師であり思春期保健相談士、日本思春期学会認定性教育講師である中山さんの話は、専門的な知識を中学生にも分かりやすく説明されていて、きちんと性教育を受けていない世代にとっても分かりやすく、参加者も学びが大きかったようです。

去年は、中学・高校など35校へ「性教育」の授業を実施。授業の要請があった場合は、学校側と話し合いをしてその要望に沿った内容で話をされるなど、きめ細かな対応をされています。すでに受講者からお呼びしたいとの話も出ており、今年度もお忙しそうです。



以下は参加者の感想（抜粋）

- ・授業の構成が、とてもスッキリしていて分かりやすくまとめてあったと思います。中学3年生を対象に「思春期とは…」という導入は、いいですね。生徒さんの授業への参加のモチベーションを考えた、「推し」の話など、若い世代の講師だからこそ伝わる話でしょうか。「お付き合いって何するの？」も、上から目線ではない感じなので、生徒さんたちにも、素直な気持ちで受け入れられるでしょうね。体液の交換の実験は分かりやすく、生徒さんの記憶に残るはずです。看護師という立場で、月経や感染症などでの受診を案内できることもいいですね。
- ・性に関することは、世間では、エロだったり、禁止事項だったりが多いと感じていますが、中山さんがIメッセージで、生徒を尊重しながら伝えられているのを聞きながら、性は、人間関係・尊重・同意なんだということを、深く感じました。最後の性感染症の感染状況を示す実験も、感染した！たいへん！となった赤い水をそのままにせず、中和して透明にされたのも、ホッとできました。今回、楽しみながら、とても勉強になりました。ありがとうございました！
- ・性に関心のある「それぞれの時期」に、正しい知識を得ることはとても重要だと思います。しかし、日本では中学の学習指導要領では性交は扱わないとされていて、正しく理解されていないまま、ネットや雑誌などの間違った情報にさらされているのが現状です。講師のような人材が増えて、これが当たり前の知識になるようにと願います。



## デートDV防止全国ネットワーク スプリングフォーラムより

今年のデートDV防止スプリングフォーラムは、渋谷の東京ウイメンズプラザで開催されました。全国各地から予防教育に取り組む会員が、4年ぶりに集まりました。新型コロナウイルス感染症下では、オンラインでの会議開催が当然のようになっていますが、このように直接顔を合わせての会合は、やはり有意義です。とはいえ、オンラインで、距離的に遠い方々ともつながれることは、経済的で、便利な面もたくさんあります。これからは、上手に使い分けしていく必要があるようです。

フォーラムの詳細は 次のURLからご覧になれます。 <https://notalone-ddv.org/>

### 「DVの社会的コストは年間10兆円！」 基調講演から

長年支援にかかわる中で、個人のDV被害の深刻さや回復への期間の長さを思う時、これは個人のダメージはもとより、社会全体にも大きな経済的ダメージを与えているはずと感じていました。中央大学副学長で商学部教授の武石智香子さんは、「暴力の社会的コスト」つまりDVが社会に与えるダメージを数値で表す「社会的コスト推計」の研究をされています。社会的コストを把握する理由は、「深刻な被害が社会に与える影響を捉えるのは難しいが、数値化することで可視化でき、その数字を比較分析することで問題の予防や支援の効果の把握が可能となる。DVなど社会問題の解決には証拠に基づく政策が必要で、市民全体が利益を得るようなお金の使い方を検証し、政策をたてることが民主的な社会に必要です」と述べられました。DVの社会的コストは18カ国25件の研究結果から、おおむねGDPの1.2～2%。日本の場合、DVによる損失は年間6～10兆円と推計され、これは国家予算約100兆円の10%弱にあたります。またDVと他の社会問題が関連する例として、子どもの頃のいじめとその後のデートDVがつながっているという研究結果や、誰かから非難されるかもという「心理的安全性への脅威」が仕事の効率を下げるというグーグル社の研究などにも触れ、「いじめやDVへの早い段階での介入やDV予防教育は、よりよい社会、経済的な活性化のためにも大切です」と話されました。

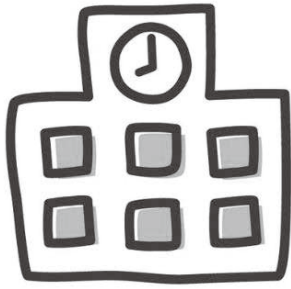
また「加害者の特徴としてサイコパス（共感性の欠如）とナルシズム、マキャベリズム（上昇志向）の三つを備えたパーソナリティ（ダークトライアド）がDVに関係するとわかってきており、そういうリーダーは組織や企業にダメージを与え、企業活動にマイナスになるという研究結果があり、よりよい社会のために必要な人材とは？と考えて選ぶことが重要とも述べられました。



ご講演を聞いて、戦後の高度成長期の社会で、強く効率的なことが良いとされ、その価値観の中で暴力が容認され、多くの被害者が生まれてきたことを思いました。暴力をなくすために、予防教育で非暴力の価値観を身に着け、対等な関係、ジェンダー平等について学ぶことは、社会全体に対する経済的な効果ももたらすことだと改めて確信しました。（NK）

← 武石智香子先生





## DV 予防教育指導者養成

### スキルアップ研修2023

DV 予防教育の指導者養成・スキルアップ研修（長崎県委託事業）も開始後10年となります。学校の先生方が参加しやすいようにと毎年8月下旬ごろ開催しており、新しい教材でスキルを磨いていただいています。経験者だけでなく、関心のある方も大歓迎です。お知り合いに情報提供をお願いします。今年度は以下の日程で実施する予定です。

#### < 基礎講座 >

日時：8月19日（土）10：00～16：00

#### < 授業実習 >

日時：8月20日（日）10：00～12：00、13：00～15：00

詳細が決まりましたら、ホームページでご案内します。

またここ数年、研修に参加者されている方には、直接文書で案内を出す予定です。

予防教育をやりたい！スキルを上げたい！と思う方は、ぜひ参加ください。

参加者には毎年、更新改定した教材をお渡ししています。

また実際の授業の見学をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

電話/FAX 095-832-8488

[dv\\_greentomato@yahoo.co.jp](mailto:dv_greentomato@yahoo.co.jp)

## 長崎市アマランス主催 予防教育講師養成講座もあります！

長崎市アマランスも毎年、20校以上の市内の中学校・高校へ派遣講座として、デートDV 予防教育を行っています。アマランスは今年度、初めて講師養成のための「授業者養成講座」を6月25日（日）から実施します。

当会としても、授業者が増えることは今後のデートDV 予防授業の発展のためには必要なことだと考えていますので、全面的に協力します。

詳細はチラシを同封しますので、ご確認ください。アマランスのHPやFBでも紹介しています。

令和5年度長崎市男女共同参画推進センター主催講座

## デートDV防止授業 講師養成講座

**無料**

初めての方でも大丈夫!!

子ども達を守るために、中学生・高校生を対象に行っているデートDV 防止授業の講師になりませんか。

スケジュール【内容と研修形態変更（ZOOMになるなど）の可能性あります。】

回	時間	内容	講師
1	6月25日(日) 10:00～12:00	研修の概要説明 「DVとデートDV 違う?同じ?」 予防教育って何? 基本を学ぶ  「どんな授業をしているの?」 授業の姿を知る	NPO 法人 DV 防止ながさき
見学	7月～9月	実際の授業に参加してみよう! まずは見学から(必修)	NPO 法人 DV 防止ながさき 学校で授業見学
研修	8月中旬に1回	スキルアップ研修	NPO 法人 DV 防止ながさき
2	9月3日(日) 13:30～15:30	「あなたも講師!」 テクニックを盗め! 中学編 (シナリオの練習含む)	NPO 法人 DV 防止ながさき
3	9月10日(日) 13:30～15:30	「あなたも講師!」 テクニックを盗め! 高校編 (質問表とシナリオの練習含む)	NPO 法人 DV 防止ながさき
体験	9月～10月	「あなたも講師デビュー」 少し実践(2回)	NPO 法人 DV 防止ながさき ・授業の一部を担当
4	11月5日(日) 13:30～15:30	「やってみてどうだった?」 疑問の整理とこれから～実践準備～	NPO 法人 DV 防止ながさき

【会場】第2研修室（市民会館2階）  
【定員】20人  
【対象】どなたでも  
【申込〆切】6月22日（木）  
【申込方法】電話か窓口、Webから  
※一時保育11時～就学前申込みは6/18まで  
TEL:095-826-0018  
<http://ngs-shjminikaikan.jp/>  
長崎市民会館で検索

【授業後の生徒からの感想】一部抜粋  
・暴力は、体にも受ける暴力だけではないこともよく分かった。劇では、同じ場面でも言い方であんなに雰囲気が変わることに驚いた。今日学んだことは、将来のためにもしっかりと覚えておくべきことだと思う。(中3 女子)  
・今回の講座がなければ、再来、自分が相手にDVをしているかもしれないと思ったので、今回の講座があっただけよかったと思った。(中2 男子)

【主催】NPO 法人 DV 防止ながさき/長崎市男女共同参画推進センター アマランス  
(長崎市民会館の町5番1号 長崎市民会館1階)



## 県北自助グループ 「レモンタイム」開催してます！

2022年4月、県下で2つ目のDV被害者の自助グループ「レモンタイム」が、県北地区に誕生しました。それまでは、県南地区の自助グループ「カモミール」のみでした。そこでは、いろんなことを自由に語り合える雰囲気が、参加者の元気の源になっているのですが、県北在住の方も遠路足を運んでいただかなければなりませんでした。定期的に参加するには、遠距離すぎたため、もっと被害者が参加しやすい場所に新たな自助グループを立ち上げる必要があるということで、「レモンタイム」を始めました。

花言葉は、心の傷を癒し、勇気と力強さを生み出すという意味があるそうです。まさに被害者支援にピッタリの言葉ではないでしょうか。

「レモンタイム」は月に1回の頻度で活動しており、エモーションカードによる感情表現やコラージュなどをしながら自由に語り合っています。最近では参加者も少しずつ増えてきて、幼児連れで参加される方もいます。いろんな作品を作るなかで、意外な特技が見られたり、発足当時は笑顔も言葉も少なかった方が、参加者同士のやりとりの中で最近では口数も多くなり柔らかな表情になってきたことが、何より嬉しくてなりません。

最初は、何となく過ごしていた方が「帰りたくない」という意思表示をされたときは、レモンタイムが安心・安全の場となったことを感じた瞬間でした。

また、サポーター同士で次回の活動をどうするか、というようなことを話し合いながら準備することも楽しみの一つです。

DV問題については、最近、世間の関心も高く、被害者支援が充実してきた印象を受けますが、被害は増加傾向にあるのが実情です。特にコロナ禍で増えてきたように感じます。自助グループはささやかな活動ではありますが、被害者の方が一人でも多く「生きていく本来の力」を取り戻していけるよう、活動を充実させていきたいと思っています。DV防止ながさきでは、カモミールやレモンタイムの他にも、地域で集まってくつろぐ場を設け、慣れない土地に引っ越してきても、安心安全を感じて生活できるように、工夫をしています。 (Y・H)



## 2022年度「DV被害者支援資質向上研修会」を開催！

日時：2月5日(日)

講師：原健一さん (NPO法人九州DVサポートセンター理事長)

テーマ：「DV被害者支援多様化に対応するために」

場所：長崎市立図書館多目的ホール、ハイブリット開催

長崎県の委託事業の一環として、DV被害者支援資質向上研修会を開催しました。今回の講師は、長年、被害者支援と加害者更生プログラムを実施してこられた原健一さんです。印象的だったのは、DV被害者が直面する複合的困難(経済的困難、被害者の精神疾患等)から起きる欲求を「わがまま」とみなすことは「自己責任論」をおしつけることになる、という点でした。時代とともにDV被害が複雑化していく中で、DV被害者は支援者の想像以上に多くの困難を持ちながら生活を立て直していかなければなりません。無意識に「自己責任論」をおしつけてはいないか、支援方法や自分の考えを見直すきっかけとなる講演でした。(M・J)

〈感想の一部を紹介〉

- ・本当の協力関係、クライアントと支援者の関係など、支援を受ける側のことを想像することについてハッとしました。
- ・「なぜ被害を受けた方が常に不利益をこうむらないといけないのか」、「支援者が被害者に”自己責任論”を押し付けない」という視点をあらためて確認しました。
- ・柔軟な多(他)職種連携体制の必要性のお話がとても心に残りました。

## ながさきDV加害者更生プログラム研究会主催

### 加害者更生プログラムのご案内

令和5年5月、内閣府より「地方公共団体がDV被害者支援の一環として、加害者プログラムを実施する際の留意事項」が発表されました。当団体は、2017年に設立し、独自でDV加害者プログラムを実施してきました。DVを減らすためには、加害者へのアプローチが必須です。今後は市や県など、行政と連携しながら、活動を進めていけることを期待しております。

☆☆現在、第7クール目のDV加害者プログラムの受講者を募集中☆☆

「暴力とは何か」「暴力に結び付きやすい考え方」「相手と自分を尊重したコミュニケーション」など、知識と実践を学べるプログラムです。

「自分の暴力をなおしたい」という方へ、ぜひご紹介ください。

毎週火曜日・全18回・9月5日(火)19時～スタート

\*毎週火曜日・男性のみ。詳細はHPをご覧ください

お問い合わせ先

Mail: info@nondv.com

Tel: 070-2833-7399

ながさきDV加害者更生プログラム研究会

DV加害者プログラム  
非暴力プログラム  
全18回プログラム  
受講者受付中  
あなたの決心を支えます  
長崎市内  
9月対面にてスタート  
興味・関心のある方は、お気軽にお問い合わせください  
受講場所は、長崎市内です。  
主催 | ながさきDV加害者更生プログラム研究会 |  
インターネットで！この会の名前で検索して下さい。  
電話 070-2833-7399



## 今後のイベントのご案内

☆「ジェンダーを考える連続講座」 長崎市アマランス主催 <参加費 無料>

日 時：6月25日（日）13：30～15：30

場 所：アマランス研修室

締め切：6月24日（土）※託児希望の場合は6月18日（日）

申込先：アマランス 095-826-0018

詳細内容は、アマランスにお問い合わせください。

☆長崎市アマランスフェスタ

日 時：9月31日（土）午後 講演会

10月1日（日）終日 市民企画講座

場 所：アマランス

\*当会は、被害者の声を伝えるTシャツ展示を予定しています。

☆長崎市イチョウ並木フェスタ 12月3日（日）



赤い羽根  
共同募金

赤い羽根テーマ別募金にご協力ありがとうございました



昨年度2022年度のテーマは「DV被害者の再スタート支援のための家電製品の確保」でした。目標額660,000円に対し、566,500円のご寄付をいただきました。本当にありがとうございます。手数料を引いた539,000円は、被害者の方の自立のために大切に使用させていただきます。2021年度のテーマ別募金は「デートDV予防教育テキスト作成」でした。いただいた募金で2023年3月に800部を印刷し、関係先に寄贈するとともに、授業講師を目指す方々に有効に活用させていただきたいと考えています。今年度も別のテーマでこの寄付事業に参加する予定です。寄付募集期間は、2024年1月から3月です。皆さまのご協力をお願いします。

## DV防止ながさきの電話相談 ～ 必要な方へ情報を届けたい！

暴力を我慢する必要はありません。週4回、夜も電話を受け付けています。何度かけても構いません。秘密は守ります。名前を言う必要はありません。とにかく話してみませんか？ 夫や恋人との関係、今のこと、昔のこと、心に引っかかっていること。必要があれば専門機関へつなぐこともできます。

（面接は要予約です。安全な場所でお話をうかがいます。）

095-832-8484 月・水・土 13：00～17：00 月・水 19：00～21：00

080-2794-8022 火 17：00～20：00

\*SNS相談 毎週月曜日 午後 15：00～20：00

履歴が残らないシステムです。安心してどうぞ。

チャット相談は 右のQRコード（HP）から

